私も覚えよう 書道、生花教室に 140名

文字を美しく書きたいと願い個人的に学習をしておられる方が次第に多くなってきています。

そこで横越分館で書道教室を開設したところ百名をこす申込み者がありました。その中は婦人の方、夫婦でこられる方、中学校時代から何十年ぶりに筆をもった人達さまざまです。伊藤芳夫先生の指導のもとに、毎月第二、第四月曜日一生懸命練習にはげんでいます。

○いけばな教室

右記の書道教室の語り合いの中から「生花教室」の声がでてきました。開設したらこれも四十名をこえました。毎月二回、千家古流、木島竹園先生の指導のもとでうるおいのある生活をめざしています

全国青研に参加して

連青副団長　佐久間久子

去る三月十一、十二、十三日の三日間、京都で開催された全国青研に参加して、青年団に入って、こんなにすばらしいと感じたことはありませんでした。

青年団で、今年一年、女子部員として、活動してきた悩みが、はたして、私達横越村の女子活動上だけのものなのか少し不安でしたが、分科会での話し合いで、解消されました。

女子活動の分科会に参加しみんな同じ悩みや問題をかかえていたので、とても充実した、実のある話しができました。

それに「娘としての悩みや問題は何か」「青年団の女子リーダーとしての問題」「これからのあるべき青年団内での女子活動」以上三つの点についての話し合いでしたが、結局、みんな関連した問題だったので、活発な意見交換で最後には、まとめる時間がなくなって、二泊三日の日程が短く感じられました。

話し合いが進むにつれ、活動上の実践報告から、青年団内には、何故女子部があるのかそれじゃ男子部があってもおかしくはないんじゃないかという根本的な問題が挙げられ、多くの意見が出ましたが結論は出ないで終り、それが青年団員一人一人の課題として考えることだと思います。

そして、私達の活動は、今までやってきたことのくり返しで、何か新しいことをやる時必ずためらいが生じますが他県の人達の活動状況を聞き成功、失敗にかかわらず、どんどん取り入れたいと思いました。でも、女子活動の話題ばかりじゃなく、現在みんなが直面している、青年団と習い物の問題、結婚のことなど本当に身近な話題が多く、全国青研のよさが、感じられました。

最後に、団員のみなさんのご協力で、参加できたことに感謝すると共に、一人でも多くの人に、このような場に出席してもらい、全国の人達と交流を深めてもらいたいと思います。

少年教室、高令者大学等 1年の活動を終る

高令者が新時代に適応するためには、どのような生活態度をしなければならないか、そのためにはどのような知識の再開発が必要なのか、これらの趣旨で一年高令者大学を実施してきました、いろいろなことをやりましたが、主なものを記してみますと、

○講義形式
大学講座の運営について
村政について
老人福祉について
暑さを迎えての健康管理
社会情勢について
寒さを迎えての健康管理
宗教と信仰について
村の文化財、郷土史について
村の昔話について

○話合い
婦人会、青年団との話合い
亀田町福寿大学生との交流会

○体育、レク関係
修学旅行、老人体操

○その他
楽焼教室、交通安全教室

去る三月十七日十時から終了式を行いました。午前中は下越教育事務所荻野惣氏の「家庭や地域における老人のあり方」について話を聞き、その後すぐ終了式。

まず、公民館長のあいさつ来賓祝辞を村長、議長、教育長からいただき、その後祝賀会をやりました。お互に一年苦労の話し合いをしながら、しばらくのあいだ酒をくみかわし終りました。

少年教室

子ども会のリーダー養成のために、小学校の五、六年生を対象に、団体活動、一般教養、体育、レクの指導をしてきました。

主なものをあげてみますと

○講義形式
少年教室の目的
野外活動のもち方
村の文化財
遊びについて

○体育レクリエーション
ゲームソングの持ち方
キャンプについて
クリスマスの持ち方

今年は県青少年研修センターの荒木指導員からゲームについてとてもゆかいな指導をしていただきました。又はじめてもちつきもやりました。

これ等研修の終了式を三月十三日に実施しました。当日は下越教育事務所の小野良蔵氏から「地域における少年リーダーの役割」について話を聞きました。これからの子供たちの活動を期待したいものです。

サロン

三年生作品 チェーン時計

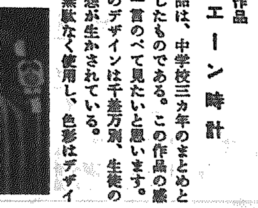
この作品は、中学校三カ年のまとめとして製作したものである。この作品の構想として一言のべて見たいと思います。

この作品のデザインは千差万別、生徒の自由な構想が生かされている。

材料を無駄なく使用し、色彩はデザインに合わせて色こく使って仕上げてある。

作品としては、おもしろく興味深い作品として良くまとめてある。

評（横中教諭　三浦　実）



昭和52年度 料理教室学級生募集

○開設期間　毎月一回
第四日曜日午前十時より
○内容　和・洋・中華料理
お菓子
○講師　新津料理学校
大谷節子先生
○場所　横越村公民館
○申込期日
四月二十日まで

第10回俳句公募 初心者大歓迎

①公募句題（通じて六句）
○春の月
○種　蒔
○[illegible]
②〆切　四月二十日（日）
③選者
大沢美雪　三風夢人
田中芳人　渡辺月笠
今井天花　小林竹生
東城菜秋　公民館長
○応募先　横越村公民館

文化団体紹介

川根谷内（かわねやち）「獅子舞保存会」

獅子舞保存会の前に川根谷内の須賀神社について一言符してみたいと思います。

須賀神社の由来は昔の昔より伝わり、川根谷内部落民の鎮守の神として祭り尊敬されてきました。

明治初め以前に於ては、神明宮を祭主神としてお祭り申し上げておりましたところ、作神悪魔払いの神として御威霊尊きを語り続けて明治初期に合祭神の須賀神社を祭主神として七月五日、九月五日に代々お祭り申し上げて来ました。

社木は年輪四百年を数え、楚々として聳え立つ様は近郷の人々の知る処であります。其処で明治初期頃より祭主神の御神楽を発心され部落の盛況を喜び、平和発展を祈って益々盛況を来し現在に至りました。

其の中には筆者の知る人が数人芸能達者の故人が居られました。代々このようにして名演技者能達者のご努力により受けつがれしも、敗戦の浮き身を見るに至り獅子舞活動も鈍り不完全形体となり、当時の部落長始め深く意を語りあい、佐久間繁夫氏、高橋兵次氏、高橋良美氏各歴代の部落長筆頭に各氏集りて尽力され、古今の伝統の美風である須賀神社の御神楽獅子舞を盛んに至さんとして部落よりご尽力をいただき発足して七年に及び今日に至りました。

その間には横越村芸能祭に出場し、当局より賞を戴き、現在も毎年出場させてもらっております。

然れども、芸能の道は遠く尽きないものを感じます。舞形は舞込みや、悪魔払いを始めとし浅草舞角田舞もあります。そんなわけで、志気はあれど歩みは重く遠いけれども上達と究明への道はその上を通らなければなりません。

急がず弛（たゆ）まず仲良く和を持ち続けて進んでいきたいと思っております。只今は長谷部幸吉氏を師匠に戴き、神田新一郎氏、丸山仁吉氏と高橋惣衛、長谷部一太、風間憲男、田中正憲各氏から中心となってもらい年上の方々よりお伝いを戴き技を練り、工夫も凝らし、成果を計り又青少年への普及を計りして神社崇敬と村人の喜びの会合と話合の場とし仲良く続けております。

獅子は雄獅子二匹、雌獅子一匹とで一組、笛と太鼓で鼓舞しながら、威勢良く舞う形は他に見る獅子舞子舞よりも一風別で良いと観衆の喜びを呼んで居ると聞き及んでおります。

（獅子舞保存会々長　市村元一郎）

汗を流してみませんか！ ママさんバレー教室

初心者大歓迎

競うスポーツというより楽しむスポーツ、気軽に参加できます。
応募資格、既婚の女性、年令は問わない。
申込み、問い合せ　横越村公民館

紙面の都合で「海外視察記」は休ませていただきました。

＝読書感想文＝

「女の顔」を読んで

小杉　小舟戸タカ

女の顔は男しだいで変るという。特攻隊員と女子挺身隊員との落し子として波瀾の星のもとに生れた津奈木まさきは、母と共にアメリカに渡り、今母の遺骨を抱いて二十年ぶりに単身祖国の土を踏んだ。まさきを包む下町の暖い人情と、肉親の冷たい反応—人々の織りなす人間模様に、人それぞれの持つ戦争の傷跡が覗く。主人公津奈木まさきは二四才。

少女時代の大半をアメリカで過したにもかかわらず、亡くなった母の厳しい躾のもとに、見事なばかりの「日本の女」に成長していた。

そんなまさきを愛する二人の男—。幸うすい境遇にありながら、明るくひたむきに生きる一人の女の前に、青春の運命は思わぬ波瀾を見せる。

あらすじはこんな長編小説であるが、肉親に財産めあてに帰って来たかとか、色々冷たくのしられながらも、それにも負けずに、感情にはしらず素直に行動し、下町の暖い人情に包まれ乍ら、それにこたえ、現代忘れられつゝある女らしさを、自然の人間愛でときほぐした主人公まさきに、私は拍手を送りたい。

あすなろ会のお蔭で、色々の角度から反省させられたり視野を広めたり、月一度の会合を楽しみにしています。

新刊図書紹介

○家庭でできる和洋菓子　婦人之友社
○わが愛は惜しみなく　小松あさの著
○紅梅、白梅　曽野綾子著
○宙ぶらりんの男　ソール・ベロー著
○日本の家庭、世界の家庭　高橋敷著
○やさぐれ馬券師　新橋遊吉著
○忍者からす　柴田錬三郎著
○お聖どんアドベンチャー　田辺聖子著
○宇宙誕生の謎　斉藤守弘著
○女たちの家　吉井由吉著
○むごく静かに殺せ　森村誠一著
○地図のない島　井上靖著

少年スポーツ教室スタート

村体協と公民館の共催で少年スポーツ教室を開催します。
○種目は、野球、バスケットボール、柔道、剣道（銃剣道も含）の四種目。
○対象は、小学生四年生から六年生、男女は問わない。
○その他、申込金五百円、年会費千円
申込者全員がスポーツ安全保険に加入できます。
活動は四月中旬から。